



各 位

2019年3月8日

会 社 名 信 和 株 式 会 社
 代 表 者 名 代表取締役社長 山 田 博
 (コード番号: 3447 東証第2部・名証第2部)
 問 合 せ 先 執行役員管理本部長 平 澤 光 良
 (TEL. 0584-66-4436)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月8日開催の臨時取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月15日公表の2018年3月期決算短信にて開示した2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値(IFRS)の修正(2018年4月1日~2019年3月31日)

	連結 売上収益	連結 営業利益	連結 税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 連結当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	16,900	2,370	2,313	1,500	108.79
今回修正予想(B)	17,200	1,950	1,890	1,390	100.68
増減額(B-A)	+300	▲420	▲423	▲110	
増減率(%)	+1.8%	▲17.7%	▲18.3%	▲7.3%	
(参考)前期連結実績 (2018年3月期)	16,586	2,306	2,238	1,459	105.87

(注) 当社は2019年2月28日付で新株予約権(200,400株)が行使され、発行済み株式総数は13,988,800株となっております。今回修正予想の1株当たり連結当期純利益は、新株予約権の行使に係る株式数を含めた期中平均株式数により算定しております。

2. 修正の理由

通期の業績予想におきましては、次世代足場や安全措置資材への安定した需要、自然災害からの復興需要、物流機器部門における業績伸長もあり、連結売上収益は17,200百万円と通期計画及び前連結会計年度実績を上回る見通しであります。

一方、利益面においては、原材料価格の高騰によるコスト上昇の一部を段階的に販売価格へ転嫁した結果、足元では収益性の改善が図られたものの、通期での売上総利益率は期初の想定を下回ることとなりました。これによる利益額の不足に対しては、販売量をさらに高めることによる対応を図りましたが、第4四半期連結会計期間における次世代足場の受注が計画を下回る見通しとなり、通期連結業績予想の連結売上収益、連結営業利益、連結税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の修正に至ったものであります。

3. 配当の状況

2018年5月15日公表の2018年3月期決算短信にて開示した1株当たり年間44円の配当予想に変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上